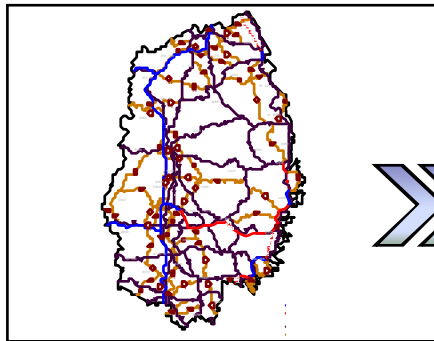


計画のポイント

- ・世界遺産候補地等が有り、多数の観光客が訪れる県南地域から、多種多様な地域資源が存在するにもかかわらず、回遊ルートが確立されていない県北・沿岸地域への、更なる観光交流の拡大を目指す。
- ・県南地域を拠点とした、県内周遊ルートにおいて、交通の支障をきたしている箇所の解消を図る。



県内周遊ルートにおける、交通の支障箇所の解消！

計画期間 平成21年度～平成25年度

1. 計画の目標

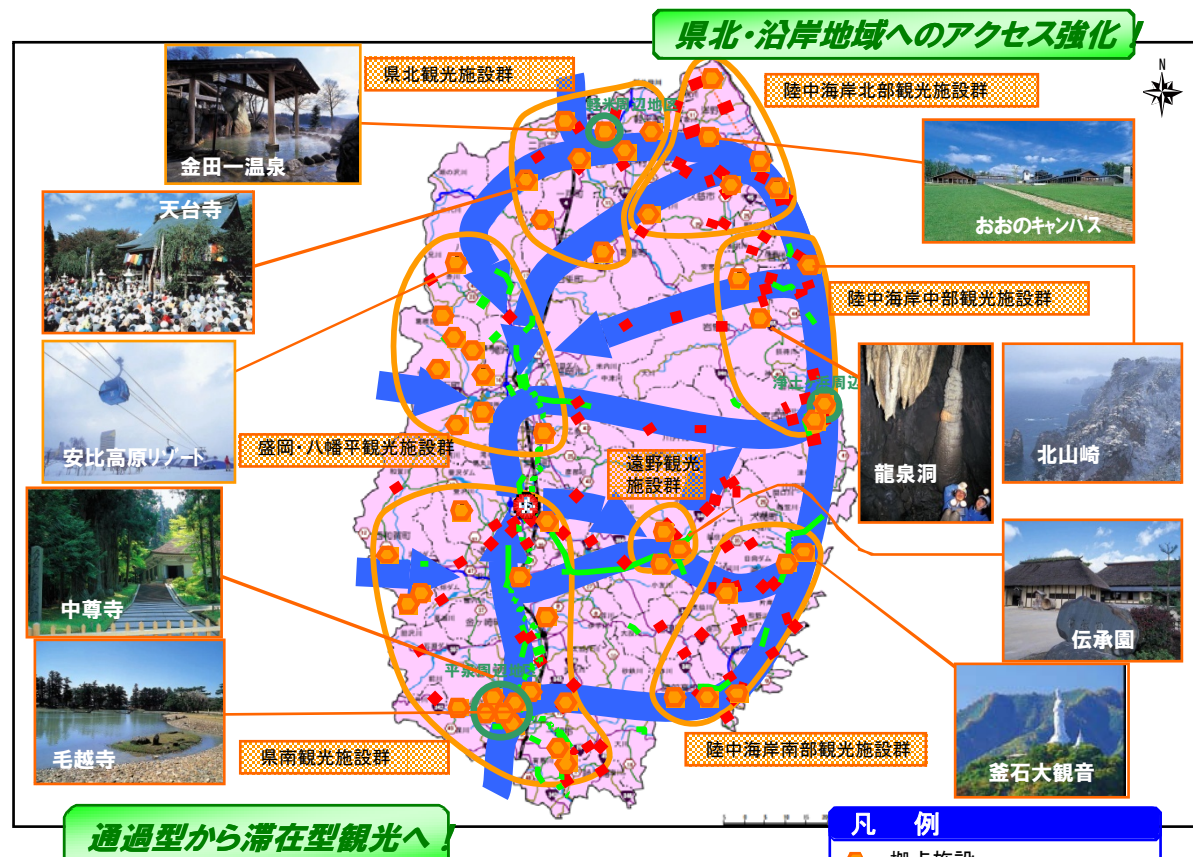
観光拠点へのアクセス機能の強化を図ると共に、県北・沿岸に点在する地域資源を活用した回遊型ルートを検討し、広域的な観光活動の活性化を進めることにより県外宿泊者数の増大を図る。

2. 目標を定量化する主な指標

県外宿泊者数(千人回)
2,666 (H20年度) → 3,134 (H25年度)

3. 主な事業 河川、道路、港湾

4. その他 既存計画との整合性:「いわて県民計画」、「平泉の文化遺産」活用推進アクションプラン

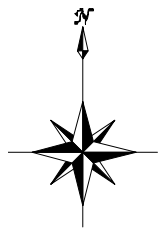


山形県広域活性化計画の概要

山形県

計画のポイント

- ・東北地域における新たな産業立地の展開や東アジア諸国の経済成長に対応し、山形県唯一の重要港湾である酒田港を活用することで、山形県内における新たな産業立地と物流を活性化させ、県内物流はもとより東アジア諸国との国際的な物資の流通を促進する。
- ・物流ネットワークとなる港湾、道路の整備により、もともと低い山形県内陸部における酒田港の利用率の向上を図る。



計画期間 平成21年度～平成25年度

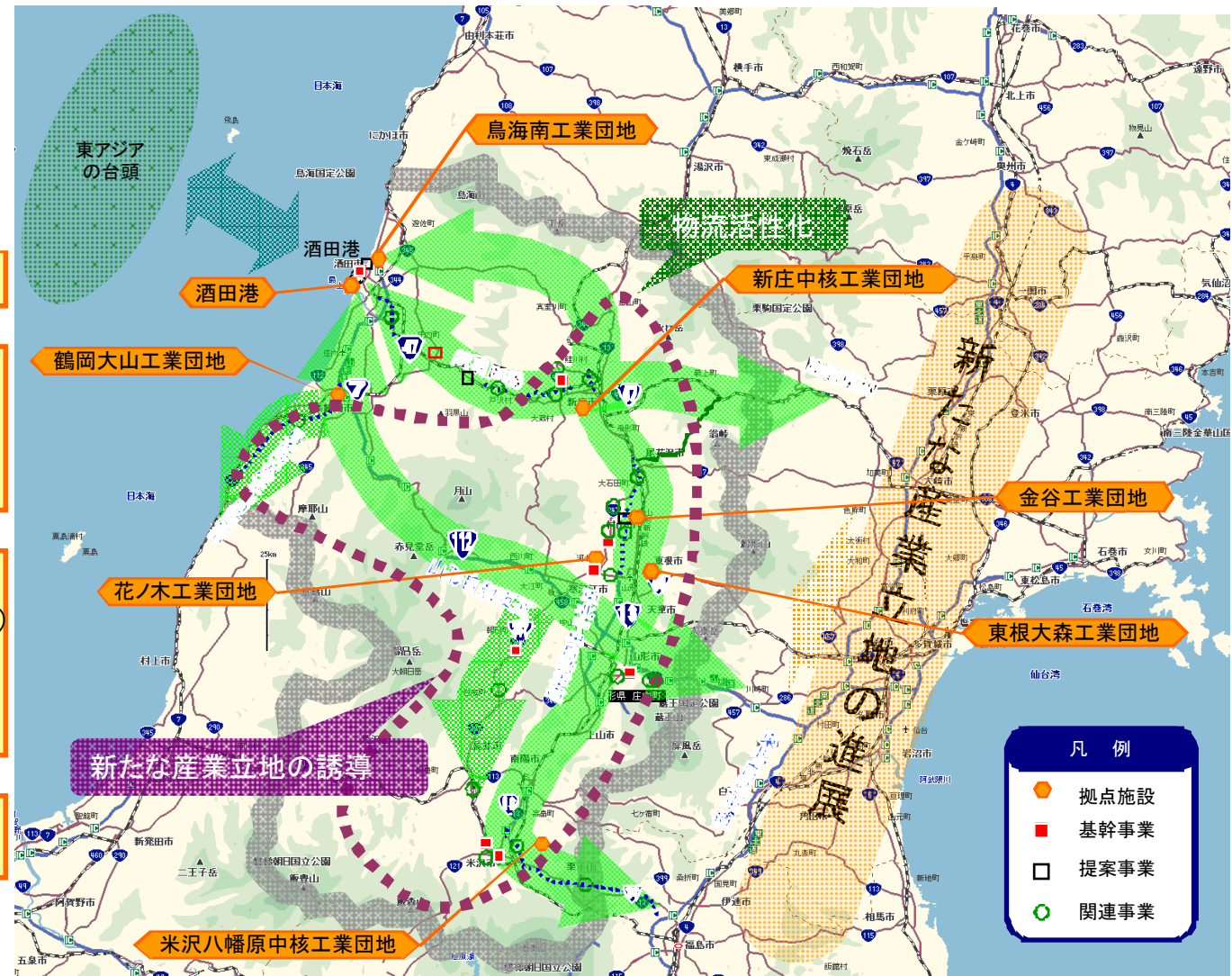
1. 計画の目標

酒田港を活用することで山形県内の物流を活性化させ、山形県の経済発展に繋げる。

2. 目標を定量化する主な指標

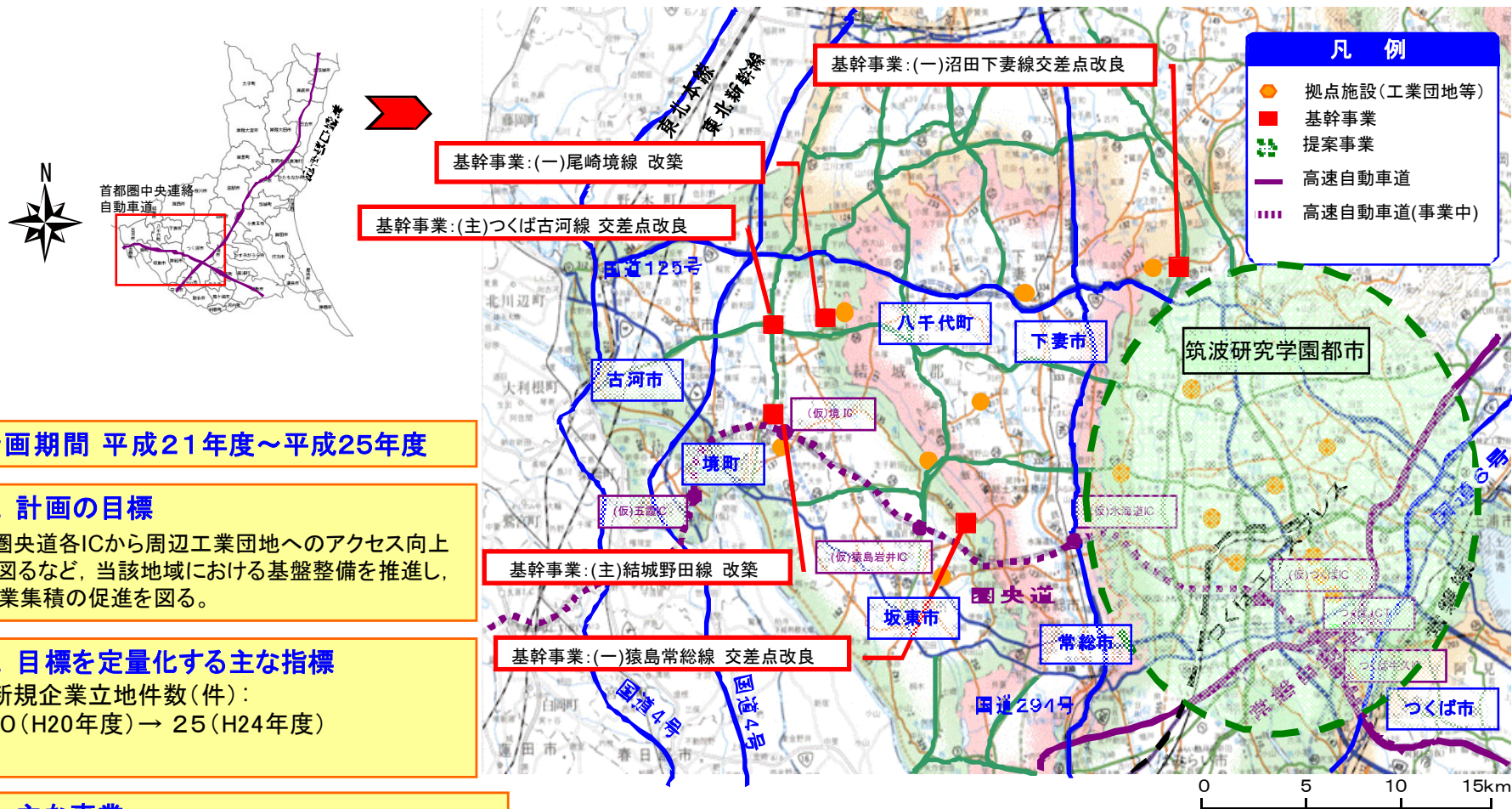
県内コンテナ貨物の酒田港利用率(%)
22.1(H15年度)⇒24.3(H25年度)
酒田港の取扱貨物量(万トン)
337(H19年度)⇒396(H25年度)

3. 主な事業 道路、港湾



計画のポイント

- ・圏央道各ICから県西地域の各工業団地へのアクセス向上を図るなど道路基盤整備を行い、つくば・県西地域の広域道路網を充実させることで人・物の流れを活発化させ、産業集積の促進を目指す。
- ・また、県西地域が、筑波研究学園都市の高度な技術や情報の連携をより一層促進することにより、さらなる効果をあげるものである。



計画期間 平成21年度～平成25年度

1. 計画の目標

圏央道各ICから周辺工業団地へのアクセス向上を図るなど、当該地域における基盤整備を推進し、産業集積の促進を図る。

2. 目標を定量化する主な指標

新規企業立地件数(件):
0(H20年度)→25(H24年度)

3. 主な事業

道路, 新たなつくばのグランドデザイン策定調査

北関東道および東北道沿線地域広域活性化計画の概要

栃木県

計画のポイント

- ・北関東道の全線開通及び東北自動車道スマートICの開通を契機に、高速道路のICへのアクセス道路の整備により、観光ネットワークの広域化・高速化を図る。
- ・県内観光客入込数の1割以上が訪れる道の駅を拠点施設群として位置づけ、高速道路網へのアクセス強化とともに魅力ある機能強化を図る。
- ・サイクリングロードや食の回廊と連携し、新たな観光拠点として観光交流の促進を図り、地域の活性化を実現する。

計画期間：平成21年度～平成25年度

1. 計画の目標

高速道路網のICへのアクセス道路の整備と観光拠点である道の駅の機能の充実整備を実施し、安全・安心・快適な観光ネットワークの形成を図り、新たな観光振興による地域の活性化を実現する。

2. 目標を定量化する指標

観光客入込数(万人)

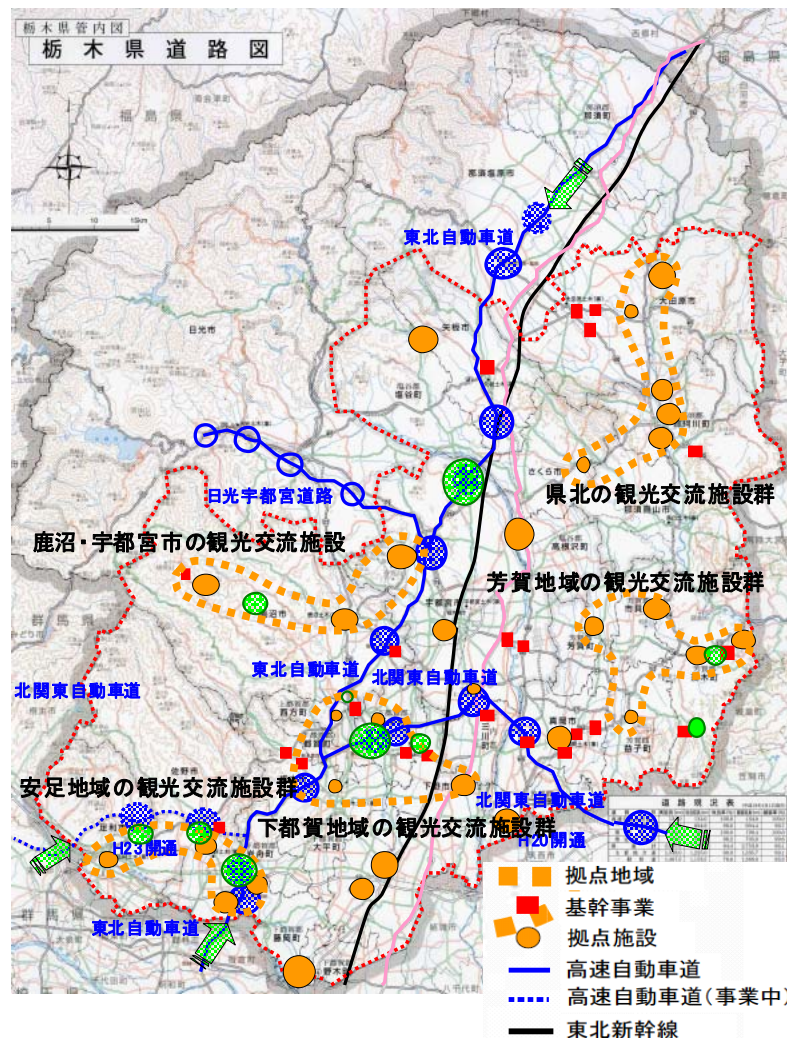
5,336(H19)→5,800(H26)

道の駅での売上額(億円)

50(H19)→60(H26)

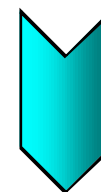
3. 主な事業

道路、
道の駅周遊観光コーディネート事業
食の回廊情報発信支援事業
道の駅新たな魅力創出事業



観光ネットワークの広域化・高速化

拠点施設の機能充実強化



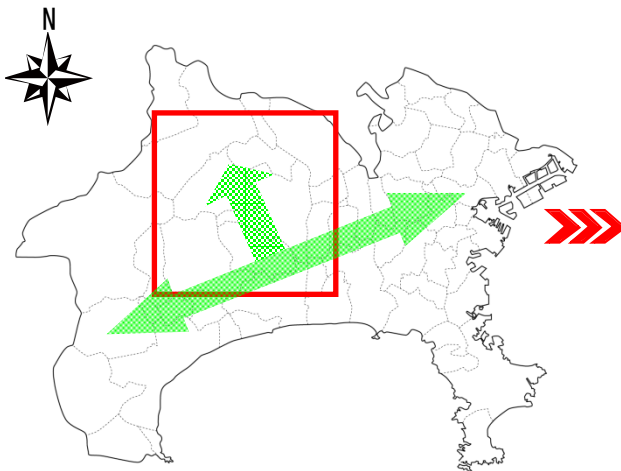
新たな観光振興による地域の活性化

丹沢・大山地域広域活性化計画の概要

神奈川県

計画のポイント

- ・丹沢・大山地域の豊かな自然環境や日向・大山の歴史的遺産などの地域資源を活用し、広域観光活性化を促進する。
- ・そのため、山間部という地理的な特性から生じる交通アクセス上の課題解消に向け、東名高速道路や国道246号から観光資源へのアクセス道路や観光資源を相互に連絡する道路の整備等を行う。



計画期間 平成21年度～平成25年度

1. 計画の目標

丹沢・大山地域の豊かな自然、歴史・文化を活用した活力ある地域づくりを目指し、観光・交流を支える基盤づくりによる観光活性化を図る。

2. 目標を定量化する指標

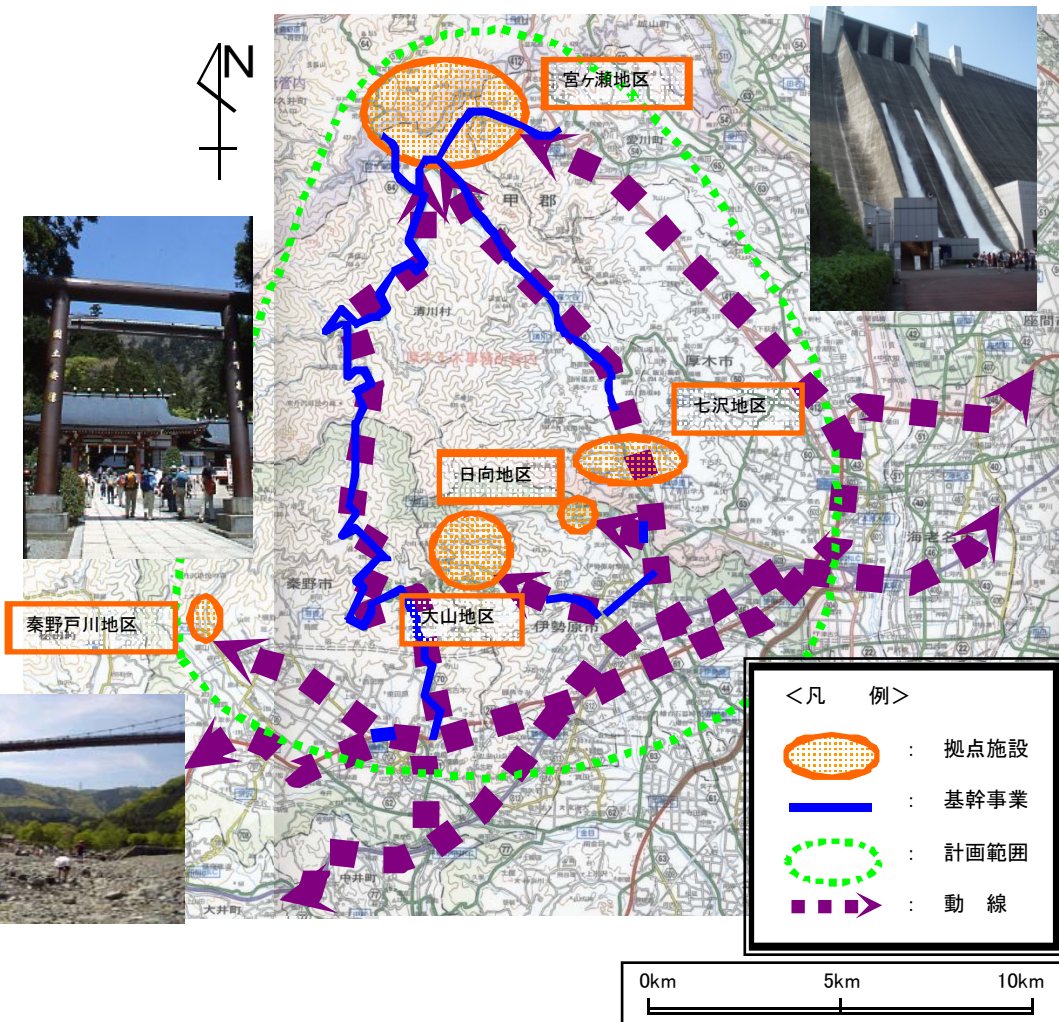
入込観光客数(万人) :

1,907(H20年度)→1,963(H25年度)

※目標値は、現在検討中であり、現在の見込み値。

3. 主な事業

道路

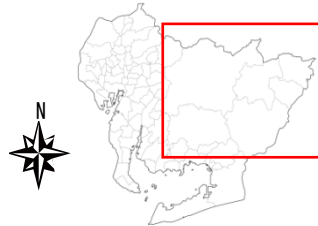


三河山間地域広域活性化計画の概要

愛知県

計画のポイント

- ・三河山間地域では、若年層の流出・高齢化による生産年齢人口減少が地域の活力を低下させている。
- ・豊かな自然環境、歴史、文化を活かした観光拠点が多数存在しているが、レジャーの多様化等により観光客数は年々減少している。
- ・観光拠点までのアクセス、観光拠点間の回遊道路整備等を促進することによる観光振興を図り地域の自立と活性化を図る。



計画期間 平成21年度～平成25年度

1. 計画の目標

各地域間の連携・交流強化による観光拠点施設の魅力の向上、都市と山村との交流促進により三河山間地域を訪れる観光客の増加を図る。

○高規格幹線道路インターチェンジ、近隣都市圏から観光拠点へのアクセス性の向上と計画区域内の観光拠点間の周遊性を高める幹線道路の整備

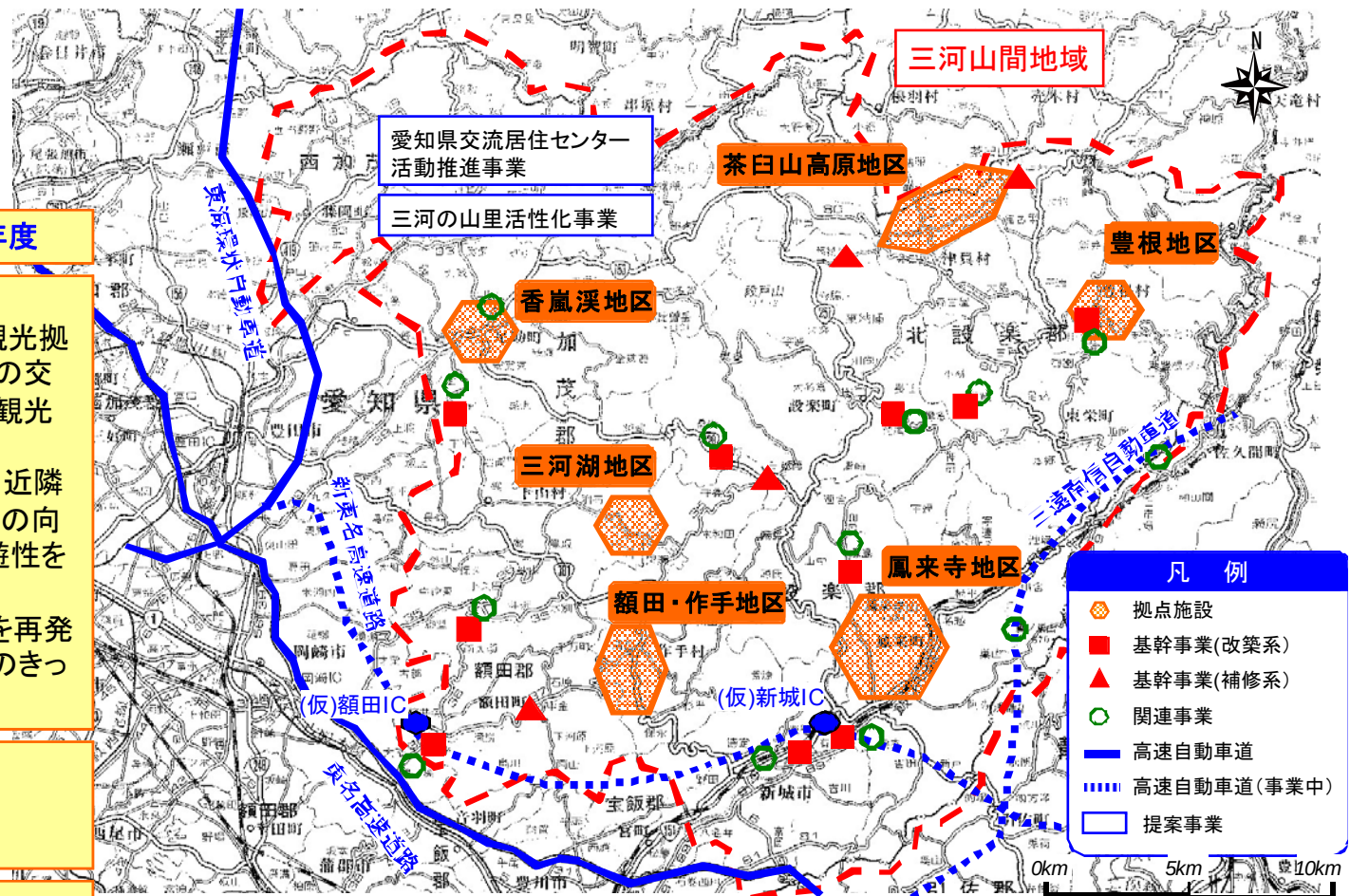
○都市住民が三河山間地域の魅力を再発見し、観光のみならず山間居住までのきっかけ作りを可能とする情報の発信

2. 目標を定量化する主な指標

観光入込客数(万人):
902(H19年度) → 1,000(H25年度)

3. 主な事業

道路
愛知県交流居住センター活動推進事業



高規格道路ICからのアクセス強化

観光拠点間の周遊性の向上

山間地域の魅力を都市住民に情報発信

三河山間地域の活性化

滋賀県南東部地域広域活性化計画の概要

滋賀県

計画のポイント

- ・名神・新名神高速道路等、交通の要衝であるという地理的な優位性(地の利)と理工系大学や民間研究所が多数立地し、知的資源が集積している(知の利)を活かした戦略的な企業誘致の促進と地場産業の販路開拓による出荷額の増加を図る。
- ・そのため、企業立地促進法に基づく新たな誘致施設や県版経済特区などへの企業誘致を促すための基盤整備や物流を支えるネットワーク整備を進めていく。



南丹地域広域活性化計画の概要

京都府

計画のポイント

- ・京都縦貫自動車道の全線開通により、南丹地域が全国の高速道路網と結ばれ、京阪神を始めとした全国から南丹地域へのアクセスが飛躍的に向上するため、これを契機として南丹地域観光地の魅力向上と活性化を図る。
- ・そのため、京都縦貫自動車道インターチェンジからのアクセスや各観光地間の移動を円滑にするための道路整備を行う。

計画期間 平成21年度～平成25年度

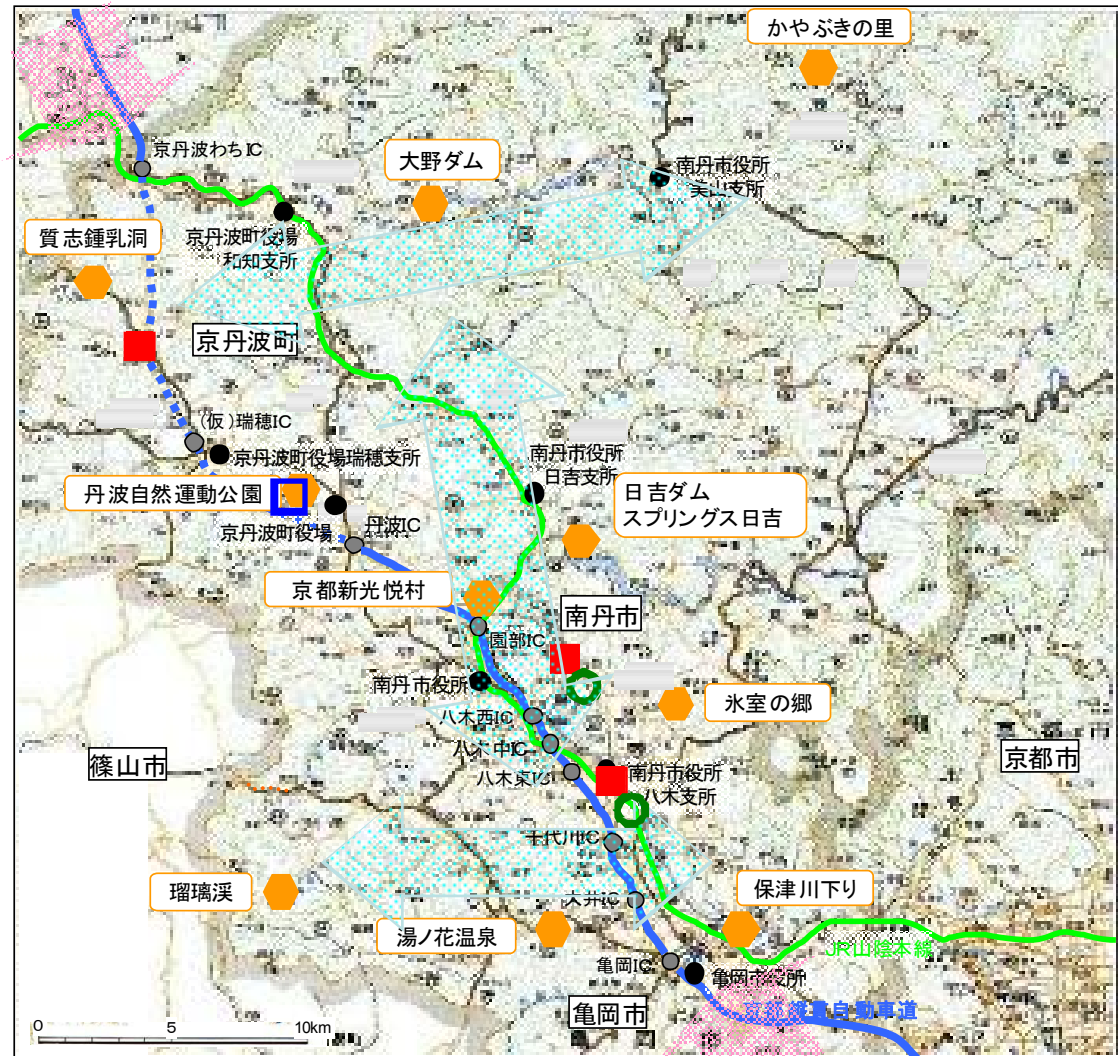
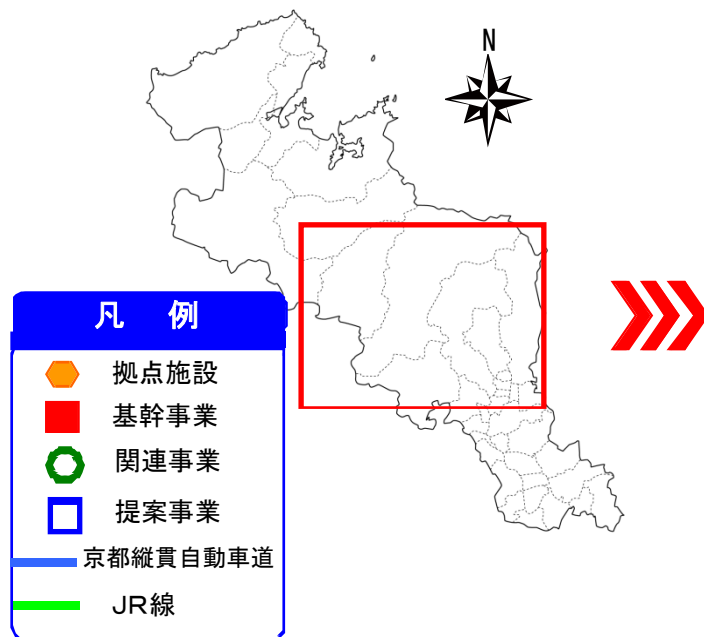
1. 計画の目標

南丹地域の観光地間の連携強化による観光地としての魅力向上、観光活性化

2. 目標を定量化する主な指標

南丹地域への観光入込客数(万人):
405(H19年度)→435(H25年度)

3. 主な事業 道路、丹波自然運動公園整備

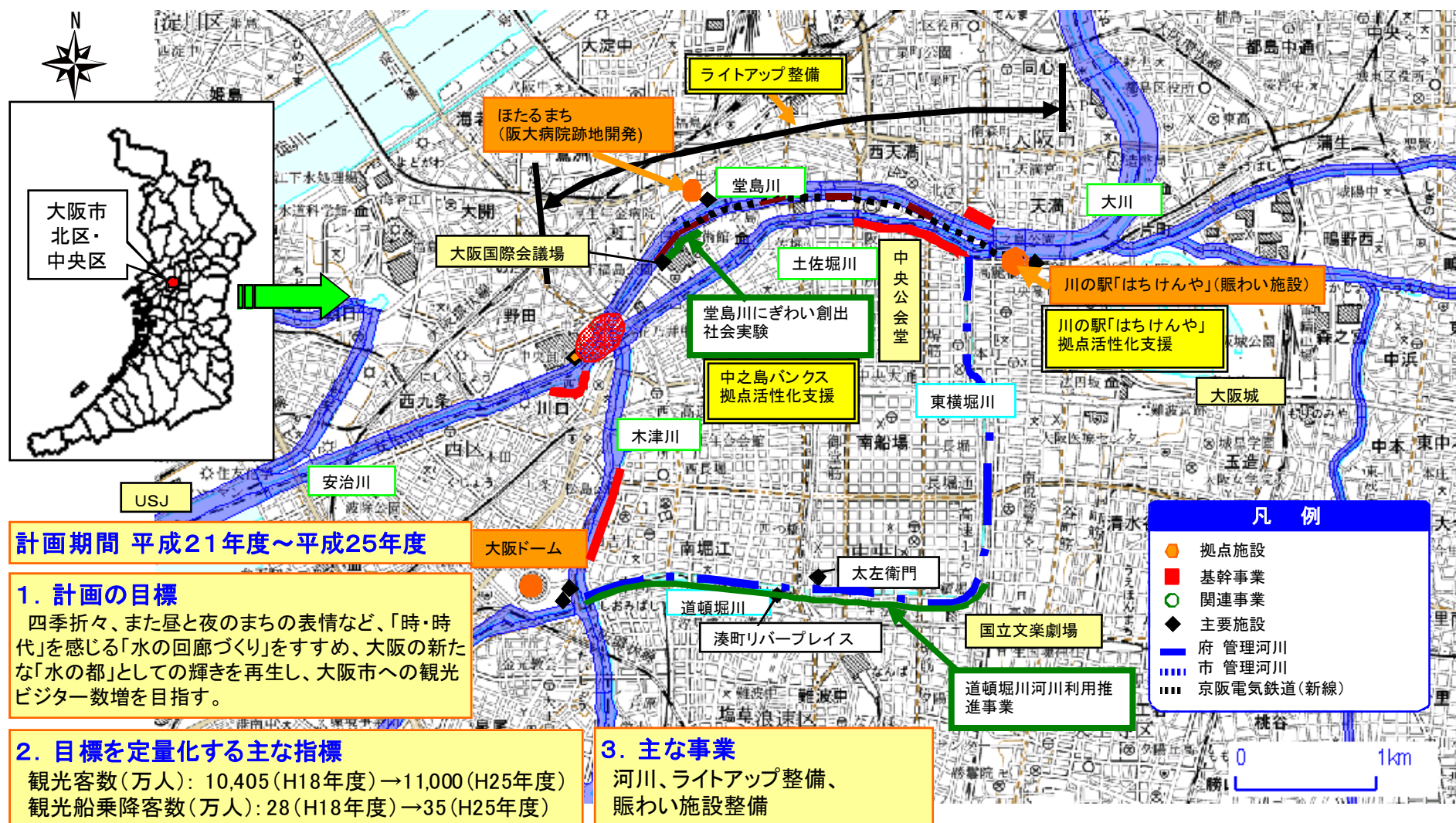


大阪市中心部(水都大阪再生)地域広域活性化計画の概要

大阪府

計画のポイント

・豊富な歴史的・文化的資源を活かして、都心を囲む水の回廊の魅力を内外にアピールし、この区域内にある近代建築物や大阪が水の都であることを再発見してもらうことを目的に、護岸や遊歩道の整備及びライトアップ事業を実施することにより、観光客の来訪の増加を図る。

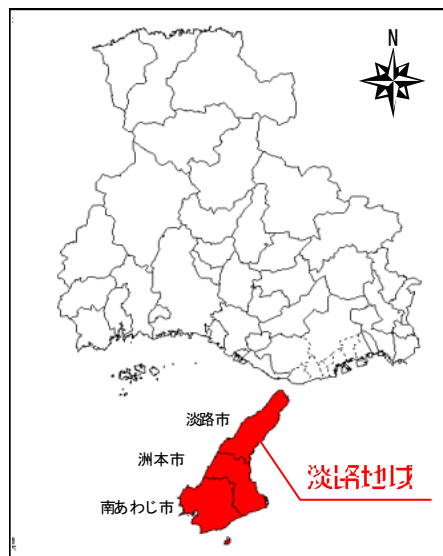


淡路地域広域活性化計画の概要

兵庫県

計画のポイント

- ・淡路地域では、多種多様な観光交流施設をはじめ、美しい海岸線などの島特有の優れた自然環境を有しているが、観光資源が点在していることやその道路ネットワークにおいて狭隘な道路があり、観光・交流の活性化を進めていく上での課題となっている。
- ・そのため、淡路島全体をひとつの観光交流施設（観光圏）とみなし、アクセス強化のための道路整備などを行い、滞在型観光の推進を図る。



2. 目標を定量化する主な指標

観光入込客数(万人):
1,197(H18年度) → 1,350(H25年度)

3. 主な事業

道路、交流推進

4. その他

観光圏整備実施計画認定(H20.10)
「淡路島観光圏」



南あわじ地区

姫野松原
江戸八幡神社
市あわじ温泉郷

計画期間 平成21年度～平成25年度

1. 計画の目標

淡路島全体をひとつの観光交流施設とみなし、既存の観光施設や淡路特有の自然や特産を活かし、滞在型観光への転換を図る。

また、「公園島淡路」づくりの取組みによる地域の魅力向上や観光・交流拠点の連携強化による広域的な観光を活性化する。



